

操業前における環境配慮事項

分類	目的	環境配慮項目	環境配慮事項
地球環境保全への貢献	<ul style="list-style-type: none"> ・自然エネルギー等の導入促進及び省エネルギーの促進 ・二酸化炭素等温室効果ガスの排出抑制 	造成及び施設の建設工事における自然エネルギーの活用、省エネルギー・温室効果ガス排出抑制対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・工事車両や建設機械のアイドリングストップ、空ぶかしの抑制 ・長寿命資材採用によるライフサイクルコストの削減 ・熱帯産木材の使用削減、間伐材製品の積極的利用 ・節水対策の徹底
		自然エネルギー・省エネルギータイプの施設等の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電、省エネルギー型照明などの導入 ・敷地、壁面、屋上の施設緑化 ・熱帯産木材の使用削減、間伐材製品の積極的利用 ・雨水利用設備、節水利用機器の導入 ・省エネルギー機器の導入、建物構造の省エネルギー化 ・廃熱の有効活用のための設備の検討
資源循環型社会の形成	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の発生及び排出の抑制 	造成及び施設の建設工事における廃棄物の排出抑制対策、適正処理の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・建設発生土、コンクリート塊、アスファルト、建設発生木材等の建設廃棄物の排出抑制、適正処理
		廃棄物の発生及び排出の抑制に配慮した施設の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・金属・紙・木屑、廃液等の回収設備の検討 ・廃棄物の排出を抑制する最新技術の導入等による施設整備
		造成及び施設の建設工事時における資源の循環利用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・伐採木の再資源化 ・建設発生土の工事間利用 ・宮城県グリーン製品やその他リサイクル製品の積極的活用 ・建設廃棄物の分別徹底
		資源の循環利用に配慮した施設の導入	<ul style="list-style-type: none"> ・宮城県グリーン製品やその他リサイクル製品等を活用した施設の整備 ・製造工程で発生する廃棄物の再利用化のための施設整備
自然環境の保全 のある身近な環	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な野生生物種の保護、生態系の保全 	用地選定時の野生生物の生息・生育環境への影響の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・野生生物の生息・生育地、重要な地形・地質等を回避した施設の位置、規模の検討 ・緑のネットワークの保全、生態系のつながりを分断しない用地の選定
		土地利用計画における野生生物の生息・生育地の保全	<ul style="list-style-type: none"> ・地形改変面積の最小化 ・事業区域内の森林の残置、水辺等の保全 ・バッファゾーン、動物の移動経路（コリドー）の確保
		代替生育・生息地、代替生育・生息基盤の創出	<ul style="list-style-type: none"> ・ビオトープの造成 ・貴重動植物の移植 ・代替巣設置による猛禽類等重要な鳥類の保護対策 ・周辺の自然と調和した緑地の造成、郷土樹種の植栽による連続性の確保
		工事による野生生物やそれらの生息・生育地への影響の抑制	<ul style="list-style-type: none"> ・工事における騒音・照明等による影響の低減、コンディショニング ・重要な生物種の生活サイクルに配慮した工期の設定 ・進入防止柵等の設置等による接触事故の防止

境の保全及び創造 とやすらぎや潤い		野生生物の生息・生育環境の保全に配慮した施設の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・施設・敷地内の緑化の推進 ・野生生物に配慮した照明等の整備 ・動物の移動のための道や水路の整備 ・止水壁等による地下水の保全 ・濁水処理施設の設置 ・標識の設置によるロードキルの防止 ・鳥類の衝突防止対策
	・美しい景観の保全・形成	周辺地域の環境に配慮した用地選定	<ul style="list-style-type: none"> ・景勝地や歴史的景観、地域の文化等周辺地域の環境との調和に配慮した位置、規模等の設定 ・指定文化財や周知の埋蔵文化財包蔵地等の回避 ・ふれあい活動の場の重要な活動区への立地の回避、改変の抑制
		周辺地域の環境との調和に配慮した施設整備	<ul style="list-style-type: none"> ・景勝地や歴史的景観、地域の文化等周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・デザイン・色彩・素材等の検討
		造成及び施設の建設工事における景観への配慮	<ul style="list-style-type: none"> ・工事用防護壁のデザイン・色彩の工夫
安全で良好な生活環境の確保	・大気環境の保全	用地選定時の生活環境への影響の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・大気汚染物質が滞留しやすい地域への立地の回避
		周辺の生活環境に配慮した施設の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・低NOxバーナー、2段階燃焼、排ガス再循環方式等の施設、排煙脱硝・硫装置、集じん装置等の設置 ・臭気が漏れないような施設の整備、脱臭装置の検討
		造成及び施設の建設工事における大気汚染・悪臭防止対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・防じんシートや散水等による粉じんの拡散防止 ・排出ガス対策型建設機械の使用 ・清掃の徹底、臭気の発生源の適正な管理
	・水環境の保全	用地選定時の生活環境への影響の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・閉鎖性の高い水域、その他汚染物質が滞留しやすい地域への立地の回避
		周辺の生活環境に配慮した施設の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水処理施設等の検討
		造成及び施設の建設工事における水質保全対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・汚水、濁水の発生を抑えた工法の検討 ・工事における汚水、濁水の適正な処理 ・沈砂地、調整池の適切な設置
	・土壌環境及び地盤環境の保全	用地選定時の生活環境への影響の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・地盤沈下、土壌汚染の発生している地域への立地の回避
		周辺の生活環境に配慮した施設の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌汚染、地盤沈下に配慮した設備の検討
		造成及び施設の建設工事における土壌汚染、地盤沈下対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・土壌基準に適合した搬入土砂の使用
	・地域における生活環境の保全	用地選定時の生活環境への影響の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、病院、住居等が集合している地域等生活環境の保全について配慮が必要な地域が存在する場合の事業の位置、規模等の検討
		周辺の生活環境に配慮した施設の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・防音壁の設置、周辺環境に配慮した施設の配置の検討
		造成及び施設の建設工事における騒音・振動の抑制対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺住民のライフスタイルを考慮した工事施工時間の設定 ・一時期に集中しない工事計画の策定 ・遮音壁、遮音シート等の仮設 ・工事車両走行ルートの分散 ・低騒音・振動型建設機械の使用
	・化学物質による環境リスクの低減	用地選定時の生活環境への影響の回避	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、病院、住居等が集合している地域等生活環境の保全について配慮が必要な地域が存在する場合の事業の位置、規模等の検討
		周辺の生活環境に配慮した施設の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・化学物質の排出抑制を考慮した設備の検討
		造成及び施設の建設工事における有害化学物質による環境汚染防止対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・工事における化学物質の適正な管理
		情報提供	<ul style="list-style-type: none"> ・県民、民間団体等に対する分かりやすい情報の提供